

「技術を磨けば未来が光る」



第4号

石巻 高技専NEWS

〔発行元〕

宮城県立石巻高等技術専門校

〒986-0853

石巻市門脇字青葉西27-1

☎0225 (22) 1719

令和2年11月12日（木）発行



本校は、昭和18年に「石巻造船技術補導所」として設立されて以来、今日まで4,400名を超える修了生を社会に送り出し、修了生は社会の各方面で大活躍しています。今回は、活躍する修了生を紹介します。

～ 社会の第一線で活躍する修了生 ～

金属加工科修了
(2018年)

阿部 翔真 さん

株式会社サワ宮城工場
(東松島市) 勤務

ものづくりに興味があり高技専へ

溶接工として汗を流す父親の影響から、「ものづくりの仕事もいいな」と思い、高校卒業後、石巻高等技術専門校の金属加工科で本格的にものづくりを学ぶことにしました。高技専では、見るもの触れるもの、全てが初めての経験で、楽しく新鮮でした。特に、NC旋盤を使った機械加工に夢中になり、株式会社サワに就職。



株式会社サワではNC旋盤を操り、 今後は他の機械も使いたいと意欲的！

半導体製造装置の部品加工などを手掛ける会社では、入社初日からNC旋盤を使い、とてもドキドキしましたが、高技専で実践を想定した訓練をしてきたので、スムーズに仕事をすることができました。今後は、NC旋盤以外の機械も触って、いろいろなものを作りたい。

【金属加工科】

機械加工・溶接・板金加工といった、ものづくりの全般的な知識・技能を1年間で習得します。金属加工技術は、小型電子部品や自動車、鋼橋など様々なものづくりに応用されています。特に、機械加工は、自動車産業や高度電子機械産業の集積が進む県内の産業界から高いニーズがあります。



木工科修了 菅野 裕喜 さん
(2003年)

有限会社長谷部漆工
(仙台市) 勤務

宮大工の基本を学ぶため高技専へ

宮大工になりたくて、大工だった祖父に相談すると、基本を学べる高技専への入学を勧められた。高技専での出会いで、宮城の伝統工芸品である仙台たんす筆うるし笥に漆を塗る仕事に就きました。



全国伝統工芸品公募展入賞

菅野さんは、仙台筆笥を製作し、令和元年度全国伝統的工芸品公募展で経済産業省製造産業局長賞(3位相当)受賞。また、令和元年度に「漆塗り工」として宮城県青年技能者知事表彰を受賞。

【木工科】

「かな」や「のみ」などの手工具や木工機械を使用して、家具や建具の設計から加工、取り付けの技術を学びます。



宮城県立石巻高等技術専門校

令和3年度 学生募集

一般選考 (一次募集)

自動車整備科	7名	★募集期間	令和2年11月9日 ～11月27日
金属加工科	19名	★選考日	令和2年12月11日
木工科	8名	★合格発表	令和2年12月21日



《 学校見学のご案内 》

随時見学を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

【普通課程】自動車整備科, 金属加工科, 木工科

【短期課程】溶接科, 配管科

【見学時間】13:30～15:30

【所要時間】約40分

編集後記

今年度の訓練も半分が過ぎ、学生は就職活動や卒業制作に向けて精力的に取り組んでいます。

来年度の学生募集も始まりました。将来の「ものづくり産業」を支える皆さん、高技専で技術を身につけてみませんか。

(S)